

地域がん診療連携拠点病院緩和ケア委員会

Plan 計画

- 1 AYA 世代(10代から30代の思春期・青年期)に特化したがん患者への支援体制がなく、各科、部署に委ねられている。
- 2 当院での AYA 支援体制づくりを目的とし、各種職種間の情報共有・発信を通じ、連携を強化し院内の潜在的な支援リソースを探る。

Do 実行

- 1 -1 外来各診療科での AYA 世代のがん患者の把握。毎月の新患の数、医療者のニーズの把握
- 1 -2 医療福祉相談室、退院支援、がん看護専門外来、緩和ケアチームにおける AYA 世代患者と家族のニーズの把握
- 2 多職種の講演会や勉強会・事例検討会への参加(学校と仕事、妊孕性など)

Action 改善

情報の均てん化

- ・AYA 世代に関わる医療者間の関わりの増加
- ・相談や病状説明同席の実施件数の増加
- ・支援を希望する患者の不安軽減
- ・人的・社会的リソース不足による不満解消

Check 評価

委員会での評価と情報共有、情報発信

- 1-1 診療科でのがん種、相談内容を報告
 - 1-2 メンバーの介入症例でのニーズの共有
 - 2 院内の AYA 世代への情報発信
- AYA 研、がん相談支援センター紹介